

Color Gallery

2018年版「化学の日」 缶バッジデザイン決定

最優秀賞



杉岡 真行さん (神奈川県立神奈川工業高等学校)

優秀賞



反保聖志瑠さん (北海道科学大学)

日本化学会(川合真紀会長)では「化学の日」「化学週間」を広める取り組みの一つとして、2015年より毎年「化学の日缶バッジ」のデザインを公募しています。今年は昨年の応募数を大幅に上回る634名の方にご応募いただき(内訳:小学生の部7点,中学生の部277点,高校生の部190点,一般の部160点)厳正な審査の上,下記のように決定いたしました。

最優秀賞 杉岡 真行(すぎおかまさゆき)さん (神奈川県立神奈川工業高等学校)

優秀賞 反保聖志瑠(たんぼせしる)さん (北海道科学大学)

高校生特別賞 工藤 瑞希(くどうみずき)さん (宝仙学園高等学校共学部理数インター)

中学生特別賞 三井祥太郎(みついしょうたろう)さん (國學院大學久我山中学校)

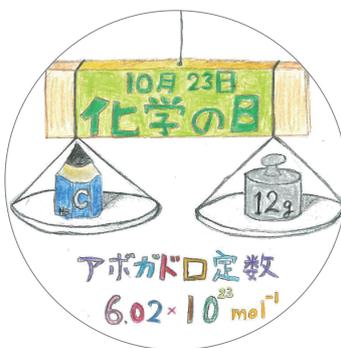
小学生特別賞 鈴木創妃光(すずきそふいあ)さん (大田区立高畑小学校)

高校生特別賞



工藤 瑞希さん
(宝仙学園高等学校)

中学生特別賞



三井祥太郎さん
(國學院大學久我山中学校)

小学生特別賞



鈴木創妃光さん
(大田区立高畑小学校)

最優秀賞作品は2018年度版「化学の日缶バッジ」に採用され、
全国で開催される化学の日、化学週間関連イベントで配布される予定です。

審査委員長 玉尾 皓平 元日本化学会会長/豊田理化学研究所所長
審査員 久新莊一郎 日本化学会 副会長, 教育・普及部門長/群馬大学教授
若林 文高 日本化学会 教育・普及部門 普及交流副委員長/
国立科学博物館理工学研究部 部長
竹内 恵 日本化学会企画部長

「化学の日」とは

日本化学会, 化学工学会, 新化学技術推進協会, 日本化学工業協会の4団体の共同提案で, 10月23日を「化学の日」, 10月23日を含む週(月曜日～日曜日)を「化学週間」と制定しています。

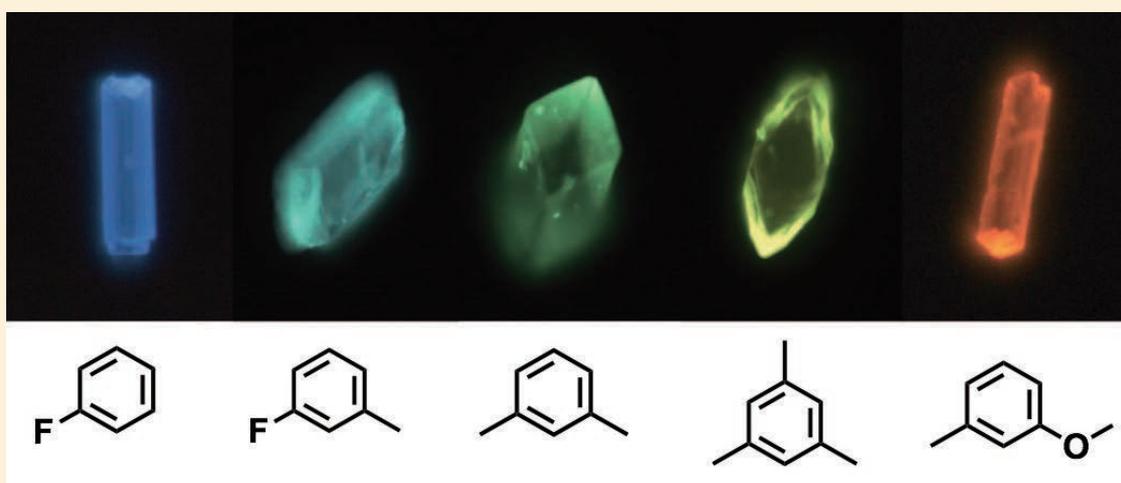
アメリカでも昔から「Mole Day」として親しまれており, 「アボガドロ定数: 1 molの物質中に存在する粒子の数=6.02×10の23乗」に由来しています。化学や化学産業が社会生活に大きく貢献していることをみなさんに知っていただき, 化学を盛り上げていくことを目的としています。

Color Gallery

レーター

分子の自己組織化により新しい機能性色素を作る技術：宝石のように光る有機発光体

小野利和



■宝石のように光る有機発光体 (P341, 図 3)

実験の広場

SSH ただ今活動中！

宮城県仙台第三高等学校 化学部

菅原佑介



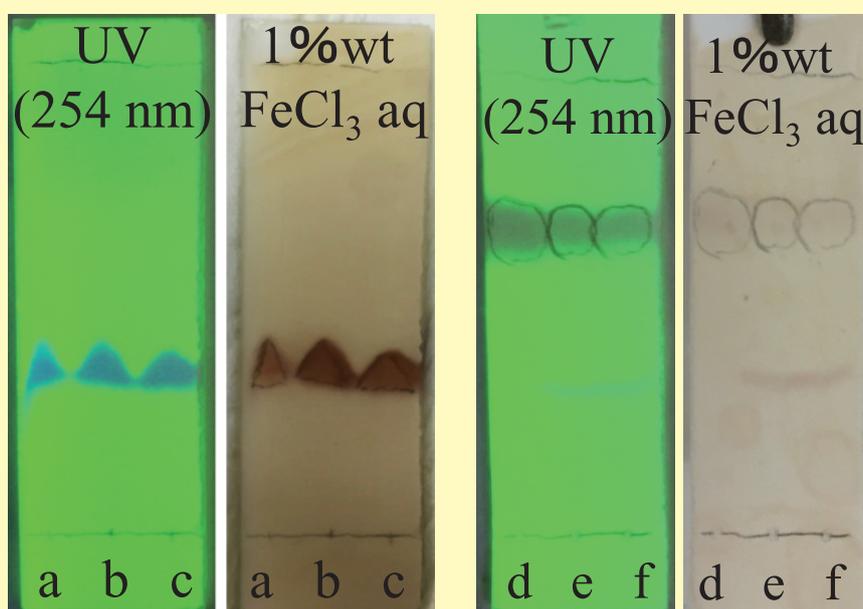
■異方性の働いた直線状の銅樹 (P344, 写真 1)

Color Gallery

論文

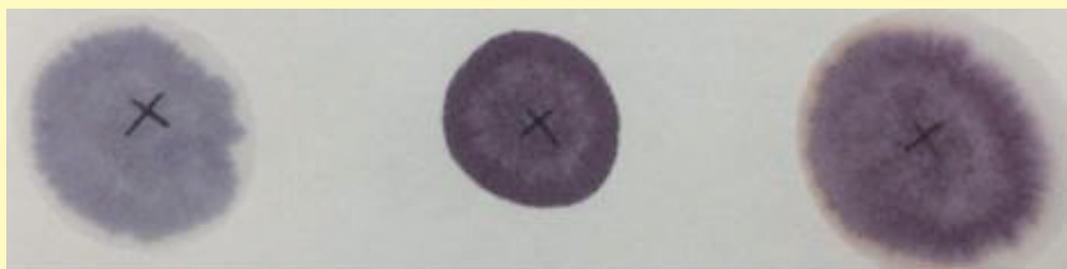
フェノールからサリチル酸の合成実験 —コルベ法の実験教材化—

佐藤和則, 井上正之



■ TLC による結晶の分析 (P358, 図 9)

a: 結晶 A, b: a と c の重ね打ち, c: 標品のサリチル酸
d: 結晶 B, e: d と f の重ね打ち, f: 標品のフェノール



フェノール
(標品)

生成物
(結晶 A)

サリチル酸
(標品)

■ろ紙上での塩化鉄(Ⅲ)水溶液による呈色 (P359, 図 11)